

調査研究報告書の要約

書名	2019年度ロボット産業・技術振興に関する調査研究報告書				
発行機関名	一般社団法人 日本機械工業連合会				
発行年月	2020年3月	頁数	124頁	判型	A4

[目次]

序 (会長 大宮 英明)

はしがき (委員長 浅間 一)

委員会名簿

概要

目次

第1章 事業目的

1.1 調査研究の目的

1.2 ロボット大賞審査・運営委員会の開催

第2章 ロボットの各分野における市場・技術動向

2.1 世界の産業用ロボットの市場動向

2.2 サービスロボットの市場動向

2.3 高度ICT 基盤技術・ICT 利活用における最新動向

2.4 介護・医療・健康分野における最新動向

2.5 社会インフラ・災害対応・消防分野における最新動向

2.6 農林水産業・食品産業分野における最新動向

2.7 ロボットでの活用が期待される先端素材等の最新動向

第3章 ロボットシステムインテグレータの発展と動向 (人材、資格制度含む)

3.1 システムインテグレーションの現在

3.2 ロボット SI 各社からみる業界動向

3.3 SIer 協会、「SI 検定」立ち上げ スキル・知識標準化

3.4 「未来ロボティクスエンジニア育成協議会」の設立に向けて

第4章 ロボット革命イニシアティブ協議会による取り組み

4.1 ロボット革命イニシアティブ協議会概要

4.2 3つのワーキンググループ

第5章 「2019 国際ロボット展」から見えるロボット技術・業界動向

5.1 多様な自動化ニーズに対応する産業用ロボット

5.2 人にやさしい社会を実現するロボット

5.3 ロボット各社、AI 技術開発加速

5.4 食品・医療向け提案

5.5 ロボット SI、多彩な用途開拓

5.6 海外出展企業の紹介

第 6 章 「World Robot Summit 2018」の振り返りと 2020 年の本大会に向けて

6.1 World Robot Summit(WRS)の開催経緯

6.2 World Robot Summit 2020 の開催・社会実装に向けた取組及び見直し

第 7 章 「ロボット大賞」表彰事業

7.1 「第 8 回ロボット大賞」の概要（目的、募集対象、実績）について

7.2 「第 8 回ロボット大賞」の実績

7.3 「第 8 回ロボット大賞」受賞後のアンケート調査結果

第 8 章 まとめ「ロボット大賞」表彰事業の見直し案の提示

8.1 審査・運営委員会における検討

8.2 生活の質の向上に資するロボット

[要 約]

本報告は、我が国のロボット産業・技術の振興に向けて、現在の市場や技術動向をまとめ、課題を調査・分析したものである。

第 1 章では、本調査研究事業の背景と目的を明確にした。

第 2 章では、産業用ロボット・サービスロボットの国内外市場・技術動向について調査・考察した。特に、高度 ICT 基盤技術・ICT 利活用分野、介護・医療・健康分野、社会インフラ・災害対応・消防分野、農林水産業・食品産業分野、その他先端素材等の最新の研究開発について、最新動向を取りまとめた。

第 3 章では、ロボットシステムインテグレータの現状と、今後の発展と動向について調査・考察した。

第 4 章では、ロボット革命イニシアティブ協議会による取り組みについて考察した

第 5 章では、「2019 国際ロボット展」から、最新のロボット市場・技術トレンドを調査・考察した。

第 6 章では、「World Robot Summit 2018」の開催結果と、2020 本大会に向けての課題を概説した。

第 7 章では、「第 8 回ロボット大賞」表彰事業の概要（目的・募集対象・実績）、および表彰式の様子をまとめた。

第 8 章では、ロボット大賞審査・運営委員会での検討内容を踏まえて、次回「第 9 回ロボット大賞」に向けての見直し案と提言を行った。

この報告書は、競輪の補助金により作成しました。

[https:// hojo.keirin-autorace.or.jp/](https://hojo.keirin-autorace.or.jp/)

